

2023(令和5)年度 佛教大学法然仏教学研究センター活動報告

第一部門 法然文献班 元亨版『和語燈録』本文・現代語訳対照本作成

班長 本 庄 良 文

研究組織および専門分野

本庄 良文	嘱託研究員（浄土学・仏教学）
伊藤 真宏	研究員（浄土学・日本仏教文化史）
市川 定敬	研究員（法然浄土仏教思想研究）
齋藤 蒙光	研究員（法然浄土教）
大久保慶子	嘱託研究員（中世仏教説話）
下端 啓介	嘱託研究員（浄土学・法然浄土教）

2023（令和5）年度の研究

- (1) 休止状態であった研究活動の活性化に向けて、資料保管・整理のための場所を確保している。
- (2) 研究班において集約されてきた研究成果の補正を行う態勢を整えている。
- (3) 本文・注の文言の補正を、若手の協力を仰ぎながら班長が中心となっていくこととしている。

研究会の開催等（対象期間：2023（令和5）年1月～12月）

班別研究会は開催していない。

第一部門 『逆修説法』 班

『逆修説法』諸本対照本作成、親鸞筆「法然聖人御説法事」を中心とする本文批判

班長 眞 柄 和 人

研究組織および専門分野

眞柄 和人	嘱託研究員（法然仏教伝承過程）
齋藤 蒙光	嘱託研究員（浄土学、法然浄土教思想研究）
吉原 寛樹	嘱託研究員（『逆修説法』研究）
岩谷 隆法	嘱託研究員（法然文献）
一ノ瀬和夫	学術研究員（法然思想研究）

2023（令和5）年度の研究

昨年度末（2023年3月）、当班の研究成果として、法然房源空述『逆修説法』を刊行した。
本年4月からは、以下の通り、目標を新たに設定し、班での研究活動を行っている。

①逆修説法を深く読む

月一回程度、研究座談会を開催。各々意見を出し合い議論して、本書の課題を深掘りする。

②「法然聖人御説法事」の本文批判（親鸞の筆を追う）

『逆修説法』（善照寺本の訓読・現代語訳）を土台に、親鸞筆「法然聖人御説法事」を中心資料とした諸本比較を行う。

研究会の開催等（対象期間：2023（令和5）年1月～12月）

第105回研究会

日 時：令和5年1月16日（月）13：00～14：00

場 所：Google meet でのリモート研究会

参加者：眞柄、齋藤、吉原、岩谷

内 容：第四校の修正検討

第106回研究会

日 時：令和5年1月23日（月）14：00～15：00

場 所：Google meet でのリモート研究会

参加者：眞柄、齋藤、吉原、岩谷

内 容：第四校の修正検討

第1回研究会（通算107回）

日 時：4月4日（火）13：00～14：00

場 所：Google meet でのリモート研究会

参加者：眞柄、齋藤、吉原、一ノ瀬、岩谷

内 容：『逆修説法』刊行報告、今後の班活動の方針検討

第2回研究会（通算108回）

日 時：5月19日（金）13：00～15：00

場 所：佛教大学鷹陵館喫茶

参加者：眞柄、齋藤、吉原、一ノ瀬、本庄、岩谷

内 容：今後の活動内容についての座談会

第3回研究会（通算109回）

日 時：6月16日（金）13：00～15：45

場 所：Zoom でのリモート研究会

参加者：眞柄、齋藤、一ノ瀬、本庄、岩谷

内 容：親鸞の筆「法然聖人御説法事」を中心とした諸本比較、『逆修説法』の修正検討
進捗状況：『親鸞聖人真蹟集成』五 P12L5まで／『逆修説法』P2L5まで

第4回研究会（通算110回）

日 時：6月30日（金）13：00～15：00

場 所：Zoom でのリモート研究会

参加者：眞柄、齋藤、吉原、一ノ瀬、本庄、岩谷

内 容：親鸞の筆「法然聖人御説法事」を中心とした諸本比較、『逆修説法』の修正検討
進捗状況：『親鸞聖人真蹟集成』五 P15L5まで／『逆修説法』P3L2まで

第5回研究会（通算111回）

日 時：9月5日（火）13：00～15：00

場 所：Zoom でのリモート研究会

参加者：眞柄、齋藤、岩谷

内 容：親鸞の筆「法然聖人御説法事」を中心とした諸本比較、『逆修説法』の修正検討
進捗状況：『親鸞聖人真蹟集成』五 P22L1まで／『逆修説法』P5L4まで

第6回研究会（通算112回）

日 時：10月16日（月）13：00～15：00

場 所：Zoom でのリモート研究会

参加者：眞柄、齋藤、吉原、岩谷

内 容：親鸞の筆「法然聖人御説法事」を中心とした諸本比較、『逆修説法』の修正検討
進捗状況：『親鸞聖人真蹟集成』五 P24L6まで／『逆修説法』P6L1まで

第7回（通算113回）

日 時：11月13日（月）13：00～15：00

場 所：Zoom でのリモート研究会

参加者：眞柄、齋藤、吉原、一ノ瀬

内 容：親鸞の筆「法然聖人御説法事」を中心とした諸本比較、『逆修説法』の修正検討
進捗状況：『親鸞聖人真蹟集成』五 P30L5まで／『逆修説法』P7L19まで

第8回（通算114回）

日 時：12月18日（月）13：00～15：00

場 所：Zoom でのリモート研究会

参加者：眞柄、吉原、一ノ瀬、岩谷

内 容：親鸞の筆「法然聖人御説法事」を中心とした諸本比較、『逆修説法』の修正検討
進捗状況：『親鸞聖人真蹟集成』P33L3まで／『逆修説法』P8L15まで

第一部門 『選択集』 諸本研究班 信重院蔵『選択集』 諸本等の調査および研究

班長 兼 岩 和 広

研究組織および専門分野

兼岩 和広	嘱託研究員（法然浄土教・『選択集』）
伊藤 真宏	研究員（浄土学・法然浄土教）
服部 純啓	嘱託研究員（浄土学）
小川 法道	嘱託研究員（浄土教思想）
下端 啓介	嘱託研究員（浄土学・法然浄土教）
明石 寛成	学術研究員（浄土学・江戸期浄土教）
高城 聡宏	学術研究員（浄土学・西山教学・「當麻曼荼羅」）

2023（令和5）年度の研究および研究概要

京都信重院所蔵『選択集』のデータ化や目録の作成についてはほぼ完成し、佛教大学図書館に収蔵されている『選択集』の調査も既に完了している。次の段階として、他大学図書館での調査を計画しており、今年度はその調査活動の準備を行っている。

また諸本の比較対象作業については、各自で作業を進めている。

研究会の開催等（対象期間：2023（令和5）年1月～12月）

班別研究会は開催していない。

第二部門 『摧邪輪』 班 明恵 『摧邪輪』 寛永版訓読・現代語訳・註

班長 米 澤 実江子

研究組織および専門分野

中御門敬教 嘱託研究員 インド・チベット浄土教／顕密の浄土教
服部 純啓 嘱託研究員 浄土学
米澤実江子 嘱託研究員 日本仏教（中世）

2023年度の研究および研究概要

『摧邪輪』には数本の写刊本が存在し、既に寛永年間版本を底本とした、書き下し（全）・校補注（全）・現代語（巻上）が公にされている。

当班では、2013年度より寛永年間版本「巻中」の訓読・現代語訳・註の確認作業を始め、2014年9月以降、研究会を開催せず米澤が作業を継続し、2022年度より「巻下」の作業を開始した。

研究会の開催日程等

上記の通り、研究会は開催していない。

2022年度

- 2月：「巻中」訓・註・現代語訳の再検討。
- 3月：「巻中」訓・註・現代語訳の再検討。

2023年度

- 4月：「巻中」訓・註・現代語訳の再検討。「巻下」訓・註・現代語訳の検討。
- 5月：「巻中」訓・註・現代語訳の再検討。「巻下」訓・註・現代語訳。『紀要』掲載準備。
- 6月：「巻下」訓・註・現代語訳。『紀要』掲載準備。
- 7月：『佛教大学 法然仏教学研究センター紀要』第10号掲載原稿作成。
- 8月：『佛教大学 法然仏教学研究センター紀要』第10号掲載原稿作成。
- 9月：『佛教大学 法然仏教学研究センター紀要』第10号掲載原稿作成。
- 10月：『佛教大学 法然仏教学研究センター紀要』第10号掲載原稿作成。
- 11月：「巻中」訓・註・現代語訳の再検討。

以上（文責：米澤実江子）

第二部門 『徹選択集』 研究班 『徹選択本願念佛集』の注釈類の翻刻・現代語訳

班長 上 野 忠 昭

研究組織及び専門分野

上野忠昭 嘱託研究員 浄土宗浄願寺副住職（中国仏教・法然浄土教）

2023年度の研究概要

昨年度に引き続き、インターネット上のセンター研究員に公開の作業ページで、聖光『徹選擇本願念佛集』、良忠『徹選擇鈔』、聖聰『徹選擇本末口傳抄』の本文をページ上にアップし、訓読、現代語訳および注の作成作業を進めた。

本年度は、『徹選擇本願念佛集』巻上の後半部分の訓読・現代語訳・注を『法然仏教学研究センター紀要』10号で報告した。『紀要』では、『徹選擇鈔』は、『徹選擇集』対応箇所注に訓読を示すのみに留め、『徹選擇本末口傳抄』とともに、別にまとめる作業を進めている。また、昨年度『紀要』で発表した巻上前半部分の訓読・現代語訳について、法然仏教学研究センター研究員からの重要な指摘をいただいた。ひととおり現代語訳が完了した時点で、修正を反映して改めてまとめたいと考えている。

研究会の開催等（2023年1月～12月）

班別研究会は開催していない

第二部門 『往生要集鈔』 関係班 『往生要集鈔』『往生要集義記』 諸本対照・訓読・現代語訳

班長 南 宏 信

研究組織および専門分野

本庄 良文 嘱託研究員（浄土学・仏教学）
南 宏信 研究員（浄土学・仏教文献学）
伊藤 晃希 学術研究員（浄土学）

令和元年／令和5年度の研究

・『往生要集義記』 訓読・現代語訳

これまでの進捗状況を再確認し、適宜作業中である。

・本庄良文氏が昨年11月21日に大本山光明寺記主禅師研究所において行った講義「良忠述『往生要集義記』（原題『往生要集鈔』）現代語訳注作業の経緯と展望」の文字起し原稿を校正中である。本稿は『記主禅師研究所紀要』第7号（令和6年7月6日発行）に掲載予定である。

・『往生要集鈔』 諸本の翻刻

適宜作業中である。

研究会の開催等（令和5年1月～令和5年12月）

班別研究会は開催していない。

第二部門 中国関係班 『往生西方浄土瑞応刪伝』 訳注

班長 齊 藤 隆 信

研究組織および専門分野

齊藤隆信	嘱託研究員（浄土教思想、中国仏教）
曾和義宏	研究員（浄土学、中国浄土教理史）
加藤弘孝	研究員（中国仏教、浄土教思想）
永田真隆	嘱託研究員（往生伝研究）
小川法道	嘱託研究員（浄土教思想）

2023（令和5）年度の研究概要

唐代の中頃、文諡と少康によって編纂された『往生西方浄土瑞応刪伝』1巻の訳注を作成している。本書はこれに先行する僧伝類や往生伝類の中から僧俗男女48人を抽出し、その阿弥陀仏信仰にともなう往生浄土の事跡を削除修訂し、霊相奇瑞の記述を中心に紹介しており、現存する単独の浄土往生伝としては最古の資料である。

編者の少康は法然が『選択集』において中国浄土教の師資相承血脈として立てた五祖の一人であり、また法然の『類聚浄土五祖伝』では曇鸞・道綽・善導・懷感とともに少康の伝記が立伝されている。

本書は法然が中国浄土五祖を選定するにあたって拠り所とした重要資料の一つでありながら、これまでその訳注の成果が公表されることはなかった。それだけに法然仏教学研究センターにおいて本書の訳注を作成し公開する意義は大きい。

訳注作成にあたっては、京都国立博物館所蔵写本（守屋孝蔵旧蔵本）を底本に定め、六種の版本（整版本・活字本）を校本として、校訂、校記、書き下し、和訳、語注の作成を進めている。

今年度は第13伝から第18伝までの訳注を作成するとともに、また序文から第10伝までの訳注を公開した。

研究会の開催等（令和5年1月～12月）

【令和4年度】

第1回研究会（通算11）

日 時：1月17日（火）13：00～14：30

場 所：8号館共同研究室

内 容：第11道綽伝の訳注作成

参加者：齊藤、曾和、加藤、永田、小川

第2回研究会（通算12）

日 時：2月7日（火）13：00～14：30

場 所：8号館共同研究室

内 容：第12善導伝の訳注作成

参加者：齊藤、曾和、加藤、永田、小川

【令和5年度】

第3回研究会（通算13）

日 時：4月26日（水）10：00～16：00

場 所：東京都 国文学研究資料館

内 容：彰考館所蔵写本との校訂作業

参加者：齊藤

第4回研究会（通算14）

日 時：6月14日（水）10：00～12：00

場 所：8号館共同研究室

内 容：『安楽集』の訳注見直し

参加者：齊藤、曾和、加藤、永田、小川

第5回研究会（通算15）

日 時：6月16日（金）10：00～12：00

場 所：8号館共同研究室

内 容：『安楽集』の訳注見直し

参加者：齊藤、曾和、加藤、小川

第6回研究会（通算16）

日 時：6月27日（火）14：30～16：00

場 所：8号館共同研究室

内 容：『安楽集』の訳注見直し

参加者：齊藤、曾和、加藤

第7回研究会（通算17）

日 時：9月5日（火）13：00～14：30

場 所：8号館共同研究室

内 容：『瑞応伝』序文～第10洪法師伝の訳注見直し

参加者：齊藤、曾和、加藤、永田、小川

第8回研究会（通算18）

日 時：10月17日（火）13：00～14：30

場 所：8号館共同研究室

内 容：第13街法師伝、第14岸禪師伝の訳注作成

参加者：齊藤、曾和、加藤、永田、小川

第9回研究会（通算19）

日 時：11月14日（火）13：00～14：30

場 所：8号館共同研究室

内 容：第15大行禪師伝、第16蔵禪師伝の訳注作成

参加者：齊藤、加藤

第10回研究会（通算20）

日 時：12月12日（火）13：00～14：30

場 所：8号館共同研究室

内 容：第17感法師伝、第18懷玉禪師伝の訳注作成

参加者：齊藤、加藤、永田、小川

第二部門 黒谷金戒光明寺『日鑑』研究班 黒谷金戒光明寺所蔵『日鑑』の調査・翻刻・研究

班長 坪 井 剛

研究組織および専門分野

坪井 剛 研究員（日本中世仏教史）

横田友教 学術研究員（9月まで）→嘱託研究員（10月から）（近世仏教史・浄土宗史）

2023年度の研究概要

本研究班では、黒谷金戒光明寺が所蔵する公用日記である「日鑑」の調査・翻刻を行うことから、江戸期における金戒光明寺史・浄土宗史の研究に展開していくことを目的としている。本年度も昨年度に引き続き、安永5年（1776）から順次、翻刻を作成している状況である。

また同じく、原本の写真撮影も昨年度から継続して行っており、今年度は天保12年（1841）までの69冊を撮影することができた。昨年度に撮影したものと合わせると、計92冊となる。撮影データは、本学図書館でも保管して頂くこととなり、学内限定で閲覧してもらえるように調整して頂いている。

備考

本研究班には、黒宮海大（佛教大学大学院生）が参加しており、翻刻のチェック・関連史料のデータ化などを担当している。

○研究会の開催等（対象期間：2023（令和5）年1月～12月）

今年度は、班別研究会を開催していない。分担を決め、各自で翻刻を作成している。

○史料調査

第2回史料調査

日時：2023年7月24日（月）～8月3日（金）

場所：黒谷金戒光明寺

参加者：坪井・黒宮

内容：原本調査、清水光芸社による史料撮影とそのチェック。

第三部門 伝宗伝戒班

『真葛伝語』諸本蒐集および教理的根拠の探索

班長 眞 柄 和 人

研究組織および専門分野

眞柄 和人 嘱託研究員 知恩院浄土宗学研究所嘱託研究員（浄土仏教学）

武田 真享 嘱託研究員 佛教大学大学院文学研究科浄土学専攻博士後期課程満期退学
（日本浄土教）

これまでの研究成果

- ・2020（令和2）年3月1日に『真葛伝語』を発行

2023（令和5）年度の研究

- ・研究員の個別の関心に応じて、八祖聖聡の著作について研究を進めている

研究会の開催等（対象期間：2023（令和5）年1月～12月）

- ・令和5年2月22日（水） 15：00～17：30

zoomにてオンライン開催

伝法班としての活動の振り返り、反省と今後の研究テーマについて

- ・令和5年4月3日（月） 10：00～11：30

zoomにてオンライン開催

伝法班としての活動の振り返り、反省と今後の研究テーマについて

- ・令和5年6月5日（月） 13：00～15：00

佛教大学 鷹陵館1階喫茶

幡随意流の傳法書の講読、江戸期の浄土宗僧の感覚や文字に触れる訓練

- ・令和5年7月10日（月） 13：00～16：00

佛教大学 鷹陵館1階喫茶

幡随意流の傳法書の講読、江戸期の浄土宗僧の感覚や文字に触れる訓練

・令和5年9月25日（月） 13：00～16：00

佛教大学 1号館食堂

聖聡『小経直談要註記』の諸本について検討

『小経直談要註記』（京大本）の翻刻、現代語訳

1丁表（冒頭）～1丁裏「同故即是如来致」まで

・令和5年11月6日（月） 13：00～16：00

佛教大学 1号館食堂

聖聡『小経直談要註記』の諸本について検討

『小経直談要註記』（京大本）の翻刻、現代語訳

再度、1丁表（冒頭）～1丁裏「同故即是如来致」まで

・令和5年12月25日（月） 14：30～18：00

zoomにてオンライン開催

聖聡『小経直談要註記』の諸本比較検討

『小経直談要註記』（京大本）の翻刻、現代語訳

1丁表「諸佛大悲心無二」（冒頭）～1丁裏「騰神永逝出煩籠」まで

第三部門 伝宗伝戒班 聖問撰『決疑鈔直牒』身延文庫本の研究

班長 南 宏 信

研究組織および専門分野

南 宏信 研究員（浄土学・仏教文献学）

令和元年／令和5年度の研究

・身延文庫本の翻刻

前年度に引き続き翻刻作業を継続中である。

研究会の開催等（令和5年1月～令和5年12月）

班別研究会は開催していない。

2023（令和5）年度 法然仏教学研究センター組織

センター長	曾和 義宏			
研究推進機構会議委員	作田誠一郎*	三好 俊徳	有田 和臣	李 昇燁
	藤岡 勲	若林 靖永	長瀬 正子	得丸 敬三
	中嶋 力都	内田 仁		
	大西 伸江**			
運営会議構成員	曾和 義宏*	市川 定敬	加藤 弘孝	齋藤 蒙光
	坪井 剛	南 宏信	田井 陽子	
	内田 仁**			
職員	田井 陽子	田村 昌弘		

（*は委員長、**はオブザーバー）

2023（令和5）年度 法然仏教学研究センター研究組織

■「法然仏教の多角的研究」

研究員	曾和	義宏
研究員	伊藤	真宏
研究員	市川	定敬
研究員	坪井	剛
研究員	齋藤	蒙光
研究員	南	宏信
研究員	加藤	弘孝
嘱託研究員	本庄	良文
嘱託研究員	齊藤	隆信
嘱託研究員	眞柄	和人
嘱託研究員	上野	忠昭
嘱託研究員	中御門敬教	
嘱託研究員	米澤実江子	
嘱託研究員	永田	真隆

嘱託研究員	吉原	寛樹
嘱託研究員	岩谷	隆法
嘱託研究員	武田	真享
嘱託研究員	兼岩	和広
嘱託研究員	小川	法道
嘱託研究員	服部	純啓
嘱託研究員	大久保慶子	
嘱託研究員	下端	啓介
学術研究員	明石	寛成
学術研究員	一ノ瀬和夫	
学術研究員	高城	聡宏
学術研究員	横田	友教
学術研究員	伊藤	晃希

法然仏教学研究センター 活動記録（2023（令和5）年1月～12月）

2023年（令和5年）

- 1月11日（水） 第12回研究推進機構会議（オンライン会議）
16日（月） 研究会（第一部門 『逆修説法』班）（オンライン研究会）
17日（火） 第8回法然仏教学研究センター運営会議
研究会（第二部門 中国関係班）
23日（月） 研究会（第一部門 『逆修説法』班）（オンライン研究会）
25日（水） 第13回研究推進機構会議（オンライン会議）
2月7日（火） 研究会（第二部門 中国関係班）
8日（水） 第14回研究推進機構会議（オンライン会議）
22日（水） 第15回研究推進機構会議（オンライン会議）
研究会（第三部門 伝宗伝戒班）（オンライン研究会）
3月8日（水） 第16回研究推進機構会議（オンライン会議）
4月3日（月） 研究会（第三部門 伝宗伝戒班）（オンライン研究会）
4日（火） 研究会（第一部門 『逆修説法』班）（オンライン研究会）
11日（火） 第1回法然仏教学研究センター運営会議（オンライン会議）
12日（水） 第1回研究推進機構会議（オンライン会議）
26日（水） 第2回研究推進機構会議（オンライン会議）
研究会（第二部門 中国関係班）
5月16日（火） 第2回法然仏教学研究センター運営会議（オンライン会議）
17日（水） 第3回研究推進機構会議（オンライン会議）
19日（金） 研究会（第一部門 『逆修説法』班）
6月5日（月） 研究会（第三部門 伝宗伝戒班）
7日（水） 第4回研究推進機構会議（オンライン会議）
14日（水） 研究会（第二部門 中国関係班）
16日（金） 研究会（第一部門 『逆修説法』班）（オンライン研究会）
研究会（第二部門 中国関係班）
20日（火） 第3回法然仏教学研究センター運営会議（オンライン会議）
21日（水） 第5回研究推進機構会議（オンライン会議）
27日（火） 研究会（第二部門 中国関係班）
30日（金） 研究会（第一部門 『逆修説法』班）（オンライン研究会）

- 7月10日（月） 研究会（第三部門 伝宗伝戒班）
11日（火） 第4回法然仏教学研究センター運営会議（オンライン会議）
12日（水） 第6回研究推進機構会議（オンライン会議）
9月5日（火） 研究会（第一部門 『逆修説法』班）（オンライン研究会）
研究会（第二部門 中国関係班）
13日（水） 第7回研究推進機構会議（オンライン会議）
25日（月） 研究会（第三部門 伝宗伝戒班）
10月4日（水） 第8回研究推進機構会議（オンライン会議）
16日（月） 研究会（第一部門 『逆就説法』班）（オンライン研究会）
17日（火） 研究会（第二部門 中国関係班）
18日（水） 第5回法然仏教学研究センター運営会議（オンライン会議）
第9回研究推進機構会議（オンライン会議）
11月6日（月） 研究会（第三部門 伝宗伝戒班）
7日（火） 第6回法然仏教学研究センター運営会議（中止）
8日（水） 第10回研究推進機構会議（オンライン会議）
13日（月） 研究会（第一部門 『逆修説法』班）（オンライン研究会）
14日（火） 研究会（第二部門 中国関係班）
12月6日（水） 第11回研究推進機構会議（オンライン会議）
12日（火） 研究会（第二部門 中国関係班）
18日（月） 研究会（第一部門 『逆修説法』班）（オンライン会議）
19日（火） 第6回法然仏教学研究センター運営会議（対面）
25日（月） 研究会（第三部門 伝宗伝戒班）（オンライン会議）